

上場会社名 株式会社 ニッピ  
代 表 者 代表取締役社長 伊藤 裕子  
(コード番号 7932)  
問合せ先責任者 取締役経理部長 井上 善之  
(TEL 03-3888-5117)

## 2024年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年5月15日に公表しました2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、第2四半期の業績動向を踏まえ、2024年3月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異(2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	600	600	400	139.08
実績(B)	24,418	1,830	1,916	1,377	479.03
増減額(B-A)	1,418	1,230	1,316	977	
増減率(%)	6.2	205.2	219.4	244.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	22,417	1,027	1,239	831	289.08

#### (第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異の理由)

売上高に関しましては、業績予想値を上回りました。主な理由は、ゼラチン関連事業において、インバウンド需要回復を背景とした健康食品用ペプタイドやカプセル用ゼラチンなどが好調に推移し、化粧品関連事業においては、「ニッピコラーゲン100」が続伸したことにより計画値を上回りました。そのほか、皮革関連事業、食品その他事業においても外出機会の増加に伴い需要が回復した結果、計画値以上の達成となりました。

営業利益に関しましては、業績予想値を大きく上回りました。主な理由は、原材料、エネルギー価格のコスト上昇分を販売価格に一定の転嫁が実施できたこと、また、生産が計画値以上に好調であったことにより製造コストを低減できたことで計画比で増益となりました。

経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益に関しましては、営業利益での増益に加えて、為替差益が計画値を上回ったことから予想値をそれぞれ上回りました。

以上のことから、第2四半期累計期間の連結業績予想と差異が生じました。

## 2024年3月期通期連結業績予想の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 47,000	百万円 1,600	百万円 1,500	百万円 1,000	円 銭 347.70
今回修正予想(B)	49,000	3,000	3,000	2,000	695.42
増減額(B-A)	2,000	1,400	1,500	1,000	
増減率(%)	4.3	87.5	100.0	100.0	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	44,811	1,471	1,553	1,169	406.79

## (通期連結業績予想の修正理由)

通期の連結業績予想に関しましては、第2四半期累計期間の連結業績差異を主な修正理由とし、さらに直近の経営環境、事業動向を踏まえ、また、原材料費、輸送コストの水準や原油の高止まりに伴う薬品費、燃料費、電力費など生産コストの見直しを行った結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ修正いたします。

## (期末配当に関して)

2024年3月期の期末配当予想に関しましては、配当性向23%から25%を目安に2024年3月期決算確定時に判断し、1株当たりの期末配当金が決定次第、速やかにお知らせいたします。

- \* 上記の予想は、本資料発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後さまざまな要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以上